

四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表

平成23年9月30日現在

(単位:千円)

科目	金額
資産の部	
流動資産	25,480,156
固定資産	6,877,142
有形固定資産	3,607,156
無形固定資産	44,441
投資その他の資産	3,225,543
資産合計	32,357,299
負債の部	
流動負債	14,042,315
固定負債	561,769
負債合計	14,604,085
純資産の部	
株主資本	18,350,984
資本剰余金	5,195,057
利益剰余金	5,087,248
自己株式	8,374,917
その他の包括利益累計額	△306,238
その他有価証券評価差額金	△597,770
為替換算調整勘定	76,619
純資産合計	△674,390
負債・純資産合計	32,357,299

四半期連結損益計算書

平成23年4月1日から平成23年9月30日まで

(単位:千円)

科目	金額
売上高	18,346,169
売上原価	16,659,646
売上総利益	1,686,523
販売費及び一般管理費	1,903,099
営業損失(△)	△216,576
営業外収益	122,190
営業外費用	68,723
経常損失(△)	△163,108
特別利益	-
特別損失	111,526
税金等調整前四半期純損失(△)	△274,635
法人税等	2,496
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△277,131
少数株主利益	-
四半期純損失(△)	△277,131

会社概況

商号	大成温調株式会社
本社	〒140-8515 東京都品川区大井一丁目47番1号 TEL.03(5742)7301(代) FAX.03(5742)4551
創業	昭和16年4月3日
設立	昭和27年12月22日
資本金	51億9,505万7,500円
従業員の状況 (平成23年9月30日現在)	638名
役員の状況 (平成23年9月30日現在)	代表取締役会長 水谷大介 代表取締役社長 山口隆義 取締役副社長 中尾信雄 専務取締役 仲吉弘一 常務取締役 但野光吉 取締役 吉野利幸 取締役 中村恭三 取締役 志村和昭 取締役 水谷憲一 常勤監査役 宇川一夫 監査役 杉山博康 監査役 大久保和正

(注) 監査役杉山博康氏及び大久保和正氏は、社外監査役であります。

大成温調社名の由来

大成温調の大成とは、1952年(昭和27年)12月、本社の所在地である品川区大井町(現、大井一丁目)の地名にちなみ、「大井町で成功しよう」という願いを込めて、命名されました。



当社ホームページのご案内

<http://www.taisei-oncho.co.jp/>

当社のより詳細な最新情報は当社ホームページに掲載しております。事業や業績など、株主の皆さまに当社をより深くご理解して頂くためのコンテンツも揃っておりますので、是非、ご覧ください。



株式の状況 平成23年9月30日現在

- 発行可能株式総数 …………… 55,000,000株
- 発行済株式の総数 …………… 14,364,975株
- 株主数 …………… 1,866名
- 大株主の状況

株主名	持株数	持株比率
アミー・コーポレーション(株)	2,686千株	20.2%
大成温調取引先持株会	1,404	10.6
水谷日出夫	1,112	8.4
大成温調従業員持株会	815	6.1
河村和平	803	6.0
河村直美	250	1.9
シティグループグローバルマーケティング	202	1.5
小川恭弘	182	1.4
エスアイエックスエスアイエスエルティーディー	181	1.4
青木錠衛	180	1.4

(注) 上記のほか自己株式(1,077,954株)を保有しており、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
基準日
定時株主総会・期末配当 毎年3月31日
中間配当 中間配当を行う場合には9月30日
株主名簿管理人 東京都中央区八重洲二丁目3番1号
事務取扱場所 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) 〒183-8701
東京都府中市日鋼町1番10
住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先)
(インターネット) <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>
ホームページURL

・住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について
株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申し出ください。

・未払配当金の支払について
株主名簿管理人である住友信託銀行株式会社にお申し出ください。
公告方法 電子公告の方法により、当社ウェブサイトの下記アドレスに掲載して行います。
<http://www.taisei-oncho.co.jp/ir/notice.html>
ただし、やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

第61期 中間報告書

平成23年4月1日から平成23年9月30日まで

人の呼吸に
もっとやさしく



大成温調株式会社

株主の皆さまへ

株主の皆さまには、日ごろから格別のご支援、ご愛顧を賜り有難く厚くお礼申し上げます。

ここに当社第61期上半期の業績についてご報告申し上げます。

おかげさまで、当社は本年4月3日を持ちまして創業70周年を迎えることができました。これもひとえに皆さま方のご支援の賜物と、深く感謝申し上げます。

当社では、今年度より新たな成長戦略「Decade Strategy 2020」をスタートさせ、次のステップに向けて、社内組織の刷新、技術力、人材力の向上、事業内容の拡大に取り組んでおります。今後の10年間で新たな成長の時期と位置づけ、グループ全体を、次世代社会に対応した、より強靱で安定した企業体質にしていく所存です。

本61期における特徴的な取り組みといたしまして、「跳躍け世界へ！ 大成温調グループ」をスローガンに掲げ、海外へのより積極的な事業展開を推進しております。ハワイを始めとして、これまで数多くの実績を築いてきた中国、日系企業様の進出が著しいインド、フィリピンなど、アジア、太平洋地域をグループの重要なマーケットと定め、新たな市場拡大に努めていく所存です。

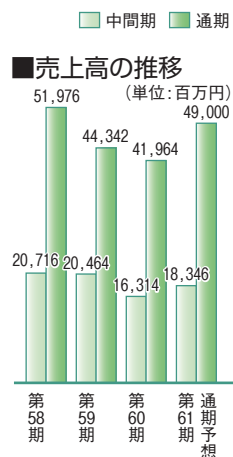
株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役会長
水谷 大介

代表取締役社長
山口 隆義

財務ハイライト（連結）



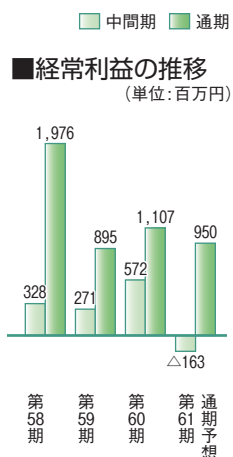
売上高

18,346百万円

前年同期比2,031百万円増(+12.5%)

ポイント

売上高は、中国の子会社において大型案件を受注したこともあり、前年同期12.5%増の183億46百万円となりました。



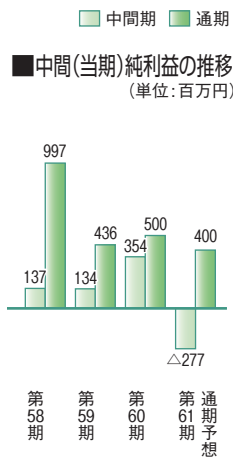
経常利益

△163百万円

前年同期比735百万円減

ポイント

経常損失は当上半期においては利益面に大きく寄与する大型工事が無かったこともあり、1億63百万円（前年同期は経常利益5億72百万円）となりました。



中間(当期)純利益

△277百万円

前年同期比631百万円減

ポイント

中間純損失は、特別損失に貸倒引当金を計上したこと等により、2億77百万円（前年同期は中間純利益3億54百万円）となりました。

大成温調のグローバルネットワーク

中国国内における当社の歴史は1987年の香港への支店開設に遡ります。以後、四半世紀にわたり、日系企業様の生産工場建設などを手がけ、数多くの実績を挙げてまいりました。現在では、上海、香港、深圳といった世界都市に加え、蘇州、東莞、広州、仏山、中山、珠海、武漢に営業拠点を開設し、10拠点にて幅広いサービスを展開しております。

特に2010年度に新たな拠点を開設した武漢市は、中国中央部における経済、商業の中心地であり、近年のインフラ整備を契機に経済成長が著しく、今後の更なるマーケット拡大が期待されております。

各拠点には日本人スタッフを常駐させ、日系企業の中国への進出に関するアドバイスをはじめ、設計、施工、メンテナンスなどの技術提供に留まらず、各種申請手続きなどトータルなサポートを行っております。

また、電気設備工事、内装工事も含めた一括請負工事にも対応しており、中国国内において新たに生産拠点の開設を検討されているお客様へも的確にサポートいたします。

中国国内の主な施工実績と営業拠点



施工中の現場から

当社が建設工事一式を担当している、ここ中国広東省中山市の「キヤノン中山工場」建設現場では、広大な敷地に、約700名ものスタッフが従事しています。

日本では考えられないスケールの工事ですが、日本流の緻密な工程管理の下、スタッフ一丸となって作業が進められています。



キヤノン中山工場